

初めての 実践研究会 報告会

都内社協職員の"実践研究"、
はじめの一步から
学会報告へ。

2024年6月に実施した日本地域福祉学会の東京大会をきっかけに、初めて実践研究を進めるために2025年1月にスタートした「実践研究会」。都内の社会福祉協議会職員が学識経験者の助言を受けながら、自らの実践を言語化し、学会発表に挑戦してきました。今回はこの1年半の歩みを、学会発表に挑戦してきた発表者による報告と、パネルディスカッションを通してご紹介します。実践研究をどのように進めてきたのか、現場における実践研究の価値、そして「実践研究とは何か」を、参加者とともに考える場にしたいと思います。



日時：9月12日（土）14時～16時
形式：オンライン（ZOOM）
対象：どなたでも（定員80名）

第一部 | 学会発表に挑戦してきた発表者による報告
第二部 | パネルディスカッション

発表者：

足立区社協、立川市社協、千代田区社協
調布市社協、文京区社協

パネリスト：

小林良二氏、榊原美樹氏、川村岳人氏、浦田愛氏 他

右記QRからお申込みください。お申込み頂いた方に後日ZOOMのURLを送付します。
申込み締切：9月7日（月）17時まで



日本地域福祉学会
東京大会実行委員会
企画メンバー

お問い合わせ：
chiikifukushi.bunkyo@gmail.com